

ポット苗作り

武蔵村山市立第三小学校

児童数：494名（平成29年5月1日現在）
 芝生化面積：1,954m²
 芝生が完成した時期：平成23年度

子供も大人も一緒になってポット苗作りに挑戦



冬を越して傷んだ芝生に補植するためのポット苗作り。近くで見ると所々に芝生のはがれた跡が見えました。



当日は子供たちや保護者、地域の方々あわせて90名という大勢の方が参加。皆さん、笑顔が絶えませんでした。

- 1 保水性を高めるために、ポットにティッシュを詰めます。



- 2 ポットに小分けにした芝生の苗を入れ、土を盛ります。



天気も良く、子供たちも楽しそうに作業をしていました。



- 3 土を入れたポットにたっぷり水を注ぎます。



- 4 約900個のポット苗が完成。1か月後の補植に向けて大事に育てます。



インタビュー：
前川 潤 校長先生

芝生を通して生まれる大人と子供の触れ合い

芝生を大切にすることはもちろんですが、それ以上に、芝生を通して大人と子供の触れ合う機会が生まれることがとても重要だと思っています。ここ数年芝生の傷みが目立つようになったのでどうにかしたいと思っていました。今回の講習会は、「校庭芝生リーダー養成講座」でポット苗による補植のことを知った副校長が企画してくれました。初めての開催で人が集まるかどうか心配だったのですが、たくさんの人にお集りいただき、とても感謝しています。本校では、これまでも運動会の練習やお花見、球技大会や丘の上キャンプの炊き出しなどで芝生を活用してきました。芝生の上での映画会など新しい試みもやってみたいと思っています。また、そのような行事がなくても、普段から休み時間になると子供たちが一斉に外に出て、裸足になって芝生の上で遊ぶ姿はなにものにも代え難いですね。そのためにも、地域の方々と力を合わせてこの芝生をきちんと維持していきたいと考えています。